

実験集合住宅 NEXT21 における屋外中間領域の利用に対する空間的な影響要因

- 集合住宅における中間領域に関する研究 その7 -

集合住宅	中間領域	NEXT21	正会員	○加茂みどり* ¹	正会員	土井脩史* ⁴
立体街路	温熱環境	行動観察	同	高田光雄* ²	同	志波徹* ⁵
			同	近本智行* ³		

1. 本稿の目的

本稿では、前稿に引き続き、実験集合住宅 NEXT21 (以下、NEXT21) の屋外中間領域における被験者の利用場所についての分析を行う。

今回の交流イベントでは、4階と3階には住戸の中間領域と連続する場所にカフェスペース (以下、カフェ) 設置している。4階はE住戸の露台上に隣接する位置にカフェを設置し、3階はC住戸の外土間と隣接する位置にカフェを設置している。一方で、屋上と5階は住戸空間と連続していない場所にカフェを設置した (図1)。

本稿は、NEXT21 の屋外中間領域の利用に対して空間の連続性という空間的要因がどのように影響したのかを明らかにすることを目的とする。

2. 催し物前後における被験者の利用場所の分析 (図2)

2-1. 5階カフェにおける催し物前後 (11:00 ~ 11:30)

5階カフェでは、10:30 から約45分間バルーンアート体験を行った。催し物を行っている時間帯は、バルーンアートの講師を中心に、被験者が入れ替わりながら集まっている様子が見られた。しかし、バルーンアート体験が終了した直後の11:30には被験者が全く残らなかった。5階カフェは住戸空間との連続性が低かった。前稿で指摘した日射の影響の他にも、住戸空間から独立したスペースであったことも5階に被験者が集まらなかった要因と考えられる。

一方で、バルーンアート体験を終えたA住戸やE住戸の居住者が3階のカフェに移動して集まった。3階カフェでは、C住戸夫妻が住戸内、外土間、3階カフェを行き来しながら対応していた。外土間という対応可能な空間が用意されていたことが利用者が集まった要因と考えられる。

2-2. 4階カフェにおける催し物前後 (14:15 ~ 14:45)

4階カフェでは、13:30からE住戸の露台上で輪投げを行った。4階カフェと露台が一体的に利用され、子どもが露台上で輪投げを行い、大人がカフェでその様子を見守る光景が見られた。催し物終了後には、E住戸妻が対応しG住戸夫妻を住戸内に招き入れる行為もみられた。

4階カフェは、E住戸の露台上に隣接していたこと、E住戸の居住者が他の被験者の対応を行ったことが、カフェと



図1. 各階のカフェの様子

露台が一体的に利用された要因と考えられる。

2-3. 3階カフェにおける催し物前後 (15:45 ~ 16:15)

3階カフェでは、15:30からジャグリングショーを行った。その時には、C住戸の外土間を観客席とし、3階カフェと一体的に利用された。催し物終了後もカフェと外土間に被験者がとどまっている様子が確認された。

それ以外にも、3階のブリッジなどからもジャグリング鑑賞している居住者が見られた。また、4階カフェと5階カフェからもジャグリングを鑑賞する居住者も見られた。NEXT21の立体街路の立体的な視線のつながりが被験者の利用場所に影響したと考えられる。

3. 結論

- 3階カフェや4階カフェでは、住戸の中間領域と一体的に利用される様子が確認され、住戸空間とのカフェとの連続性が中間領域の利用に影響した。
- 隣接住戸の居住者が他の被験者の対応することで、カフェ利用が促進されている様子が確認された。訪問者の対応空間としての機能を中間領域が持つことも被験者の利用に対する影響要因の一つと考えられる。

【謝辞】

前稿・本稿の成果は、田中恵理氏 (立命館大学理工学部) の卒業研究によるところが大きい。また、交流イベントの実施にあたっては、大阪ガス株式会社の目堅智久氏、並びに「新・中間領域研究会」の関係者、NEXT21居住者の皆様にも多大なご協力をいただきました。記して謝意を表します。

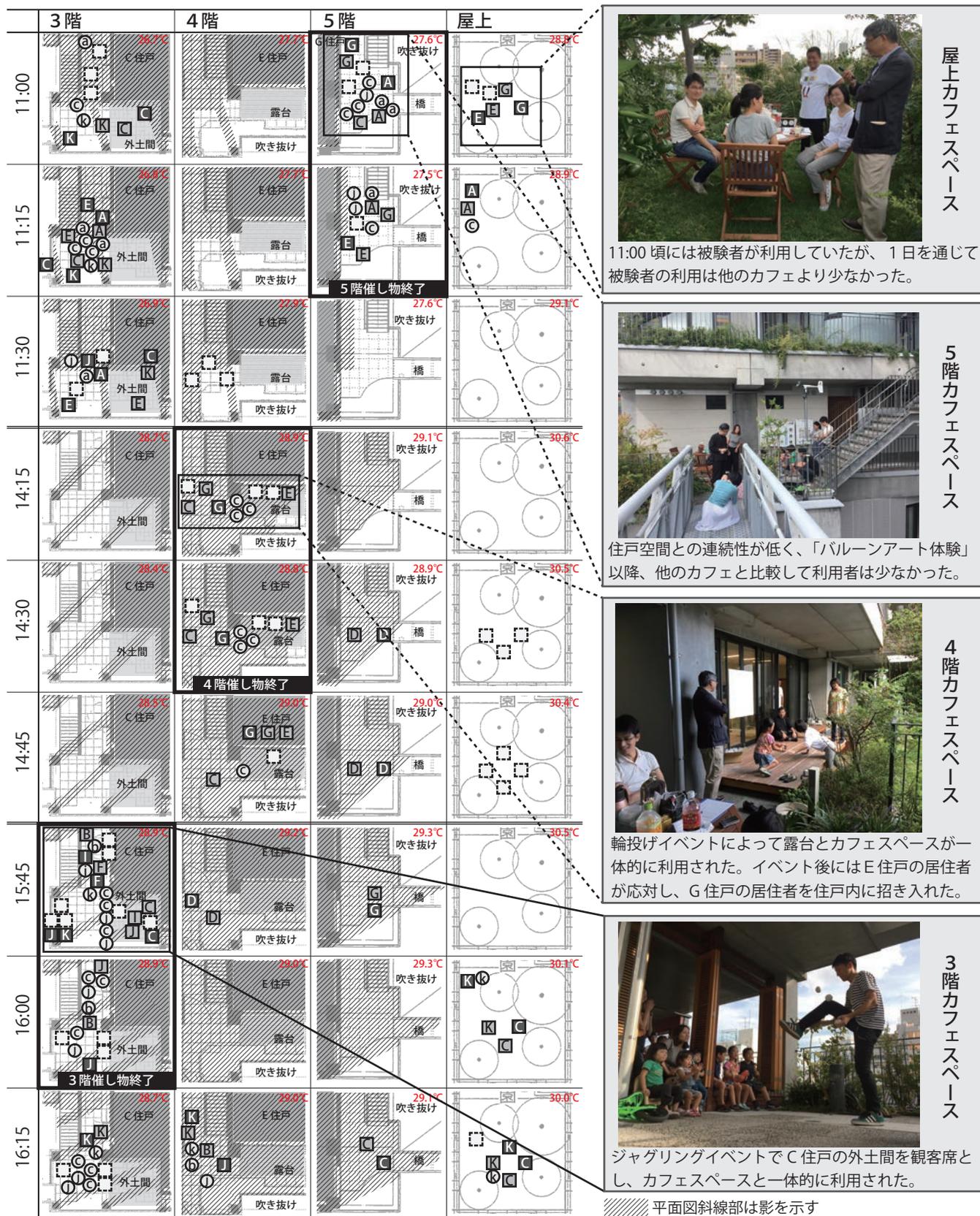


図2. カフェスペース付近の利用者の居場所の詳細

- | | |
|--------------------------------|---|
| * 1 大阪ガス株式会社 博士 (工学) | * 1 Osaka Gas.co., Ltd. Dr.Eng. |
| * 2 京都美術工芸大学 教授・博士 (工学) | * 2 Prof., Kyoto Arts and Crafts University, Dr. Eng. |
| * 3 立命館大学理工学部 教授・博士 (工学) | * 3 Prof., College of Science and Engineering, Ritsumeikan Univ., Dr. Eng. |
| * 4 京都橘大学現代ビジネス学部 専任講師・博士 (工学) | * 4 Lecturer, Faculty of Contemporary Business, Kyoto Tachibana Univ., Dr. Eng. |
| * 5 大阪ガス株式会社 | * 5 Osaka Gas.co., Ltd |